

大会名称： 第54回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： 船橋アリーナ

Aコート

試合区分： 1回戦

期 日： 8月7日

クルーチーフ

丸山 詩織

(東京)

開始時間： 13:30

1st 7th 17

小野里 健太

(群馬)

終了時間： 14:48

2nd 7th 17

佐々木 琴美

(神奈川)

明見		●		52					○		七林		61				
山梨											千葉						
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F		
4	*	鈴木 朱莉	2		1			4	*	萬 結花	22	2	6	4	5		
5		古屋 葵々	0					5	*	北澤 由菜	0				1		
6	*	舟久保 汐	13	2	3	1	4	6		志岐 紅莉	-						
7	*	古屋 和奏	13	2	1	5	3	7		内田 悠亜	-						
8	*	渡邊 華穂	15	1	5	2	1	8		関 優芽	-						
9	*	勝俣 茉呼	7	1	2		1	9		小野 心向	-						
10		小木曾 莉月	2			2		10		横山 めい	-						
11		宮下 ゆず	-					11	*	戸田 心陽渚	9	1	3		1		
12		勝俣 令菜	-					12		向井 千鶴	-						
13		渡邊 聖里菜	-					13		吉原 琴音	-						
14		小林 莉央	-					14	*	鷺尾 ゆめ	3		1	1	2		
15		平井 杏果	-					15		武田 えな	15		7	1	1		
16		舟窪 愛春	-					16	*	雨池 紗穂	12	2	3		1		
17		遠山 穂奈果	-					17		岡本 晴歩	-						
19		古屋 知咲	-					18		濱本 和奈	-						
コーチ 勝俣 美加								コーチ 毛塚 雅典									
A・コーチ			0					A・コーチ 小松 雅輝									
合計			52	6	12	10	9	合計			61	5	20	6	11		

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

1回戦、明見対七林。両チームハーフコートマンツーマンでスタート。試合開始直後、明見の連続オフenseリバウンドから#9勝俣が3Pで先制点を決める。その直後、七林の#4萬が3Pを決め、両チーム落ち着いた入りを見せる。1Q、15-17で七林がリード。2Q、七林がオールコートプレスを仕掛ける。開始直後、七林の#11戸田のドライブイン、#15武田のゴール下シュートが立て続けに決まり、開始1分半で明見がたまたずタイムアウト。その後、両チーム拮抗した展開が続く中、明見#6志岐のインサイドを起点としたプレーと#8渡邊の終了間際に遠くから放ったブザービーターが決まり、30-31で七林が1点差でリードするも、明見が追い上げて前半を終える。  
後半開始直後、明見#9と#8の連続得点で明見が3点リードしたところで七林タイムアウト。その後、お互いに粘り強いディフェンスと果敢なオフenseが続く展開となる。残り4分、明見#6が4つ目のファールをしてベンチに下がったところで、七林#15が高さと上手さを生かしたゴール下の連続得点で七林がリードする。明見は#6をコートに戻し、点差を広げられまいと踏ん張るも43-50と七林がリードを広げ、3Qが終了。4Q、明見の#7古屋の積極的なドライブインや3Pが決まるが、七林#16雨池が時間と点差を考えながらドライブインとパスをしてうまくゲームをコントロールし、52-61で七林が勝利した。最後まで粘り強く戦った明見の健闘も称えたい。

大会名称： 第54回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： 船橋アリーナ

Bコート

試合区分： 1回戦

期 日： 8月7日 クルーチーフ 飯田 はるか (神奈川)

開始時間： 13:30 1st アシスタント 菊田 沙織 (茨城)

終了時間： 14:50 2nd アシスタント 萩原 彩水 (群馬)

おゆみ野南					●						○	八王子七				
千葉					52	20 -1st- 17 9 -2nd- 9 16 -3rd- 13 7 -4th- 19 -OT1- -OT2- -OT3-					58	東京				
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	
0		米須 心琉	0				1	4	*	高井 千晴	21		7	7	2	
7		鈴木 心逢	-					5		永島 優菜	10	2	2		2	
11	*	小野 ゆい	11	1	4		3	6	*	長田 実来	0				2	
14	*	樋渡 葵	3	1				7	*	原田 咲奈	2		1		2	
24		久保田 梨聖	0					8	*	高橋 紗雪	8	2	1		3	
26		佐藤 帆珠	-					9		西牧 美虹	2		1			
29		山本 真羽	-					10		川井 葉月	-					
30		鈴木 菜月	-					11	*	川井 千穂	11	3	1		1	
37		森川 美菜	-					12		鬼熊 彩乃	4		2			
61	*	中江 美心	12	1	3	3	3	13		熊谷 千晴	-					
70		木村 菜花	5	1		2		14		山口 陽万莉	-					
76	*	木村 晴愛	12	1	4	1	2	15		高橋 ことな	-					
87		又吉 優花	-					16		川端 杏奈	-					
97	*	吉岡 藍	9		4	1	1	17		日吉 彩乃	-					
0		0	-					18		横山 菜	-					
コーチ 小島 歩華								コーチ 福島 紀史								
A・コーチ 淡路 佳太								A・コーチ 須田 多恵								
合計			52	5	15	7	10	合計			58	7	15	7	12	

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

1回戦、両チームともディフェンスはハーフコートマンツーマンでスタート。お互い早い展開でバスケットを進め、ディフェンスではボールマンに対して粘り強く守る。開始3分30秒が経過し、おゆみ野南中が12-6でリードして八王子七中がタイムアウト。これを機に、八王子七中は#4 高井のオフェンスを中心に挽回するが、第1Qは20-17でおゆみ野南中に軍配が上がる。第2Qも両チーム攻守の手をゆるめない。第2Q前半は、おゆみ野南中が息の合った連携プレーを巧妙におりませながら得点を重ねる。対する八王子七中もオールコートデフェンスから一瞬の隙をついたスティールなどで点差を開かせない。29-26でおゆみの南中がリードして第2Qを終了する。

第3Q、おゆみ野南中は攻守ともに#76 木村がリバウンドで活躍し、#14 樋渡の3P、#97 吉岡のミドルシュートで7点差にする。一方の八王子七中は#8 高橋、#11 川井の3Pで反撃するも、第3Qを45-39おゆみ野南中がリードして終了。第4Q開始早々おゆみ野南中#11 小野が3Pを決めるも、八王子七中#11 川井が3Pを2本決めて応戦。さらに速攻で流れをつくり残り4分で逆転。#5 永島の3Pなどを入れて流れを八王子七中が勝利した。

大会名称： 第54回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： 船橋アリーナ

コート C

試合区分： 1 回戦

期 日： 8月7日 クルチーフ 雨宮 恵 (山梨)

開始時間： 13:30 1st 7分 17 南出 大輔 (神奈川)

終了時間： 14:57 2nd 7分 17 倉持 雄一 (栃木)

志茂田								市川六							
東京								千葉							
○ 50								● 49							
13 -1st- 13 8 -2nd- 8 6 -3rd- 7 15 -4th- 14 8 -OT1- 7 -OT2- -OT3-															
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	滝沢 優華	12	2	3		2	4	*	津野地 小梅	15	3	2	2	2
5	*	金野 愛美花	5	1		2		5	*	大崎 歩	8		3	2	4
6	*	鳥羽 陽菜乃	11	1	4			6		磯 美南海	-				
7		芝田 一花	6		3		4	7		横山 紗矢	-				
8	*	杉崎 椿	14		5	4	3	8		新谷 奏乃	-				
9		山内 菜々	-					9	*	松下 明依	13	1	3	4	1
19		古尾谷 菜々美	-					10	*	佐野 優空	0				1
23	*	紙谷 亜香	0				2	11	*	鈴木 碧華	13		6	1	
44		相澤 心菜	-					12		鈴木 陽香	-				
88		藤村 美月	2		1			13		本名 あいみ	-				
17		山口 実莉	-					14		福島 藍花	-				
39		鳥羽 心菜	-					15		山崎 新衣凧	-				
43		吉田 幸叶	-					16		志賀 萌果	-				
77		高野 サリー	-					17		石渡 未彩	-				
91		寺島 汐俐	-					18		森 柊蕾	-				
コーチ 林田 伸一郎								コーチ 亀井 優							
A・コーチ 松永 光貴								A・コーチ 須藤 由紀恵							
合計			50	4	16	6	11	合計			49	4	14	9	8

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

1回戦、大田区立志茂田中学校対市川市立第六中学校、両チームともハーフマンツーマンでスタート。立ち上がり市川六中は#9 松下、#11 鈴木がゴール下シュートで先制する。志茂田中は#8 杉崎、#4 滝沢のドライブで得点を重ねて追いつく展開、1Qは13-13で同点。2Q、市川六中は#4 津野地を中心に時間をかけながら攻める。対する志茂田中は#8 杉崎を中心にドライブからバックシュート、レイアップを決め得点を決め一進一退攻防が続く。2Qは21-21で同点。後半互いの堅実なディフェンスを攻めきれず得点差はなかなか広がらない。志茂田中は#4 滝沢、#5 金野の3Pで市川六中を追いかけるが、市川六中は#4 津野地のドライブ、3Pを決める。3Qが終わり27-28、市川六中1点リード。4Q、志茂田中は#4 滝沢、#6鳥羽のシュートが決まり、市川六中は#9 松下、#11 鈴木の3Pとゴール下シュートで双方の譲らない展開になる。#8 杉崎のドライブが決まり残り15秒で追いつく。市川六中の攻撃も実らず延長戦に突入。延長戦は市川六中が3点リードを保つが、志茂田中#5 金野がファウルをもらい2点フリースローを決める。1点差を追いかける展開で志茂田中はプレスで攻めてスティールから速攻で#7 芝田がレイアップシュートを決めて土壇場の逆転をしてタイムアップ。最後まで勝負が分からないお互い熱い気持ちがある試合であった。

大会名称： 第54回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： 船橋アリーナ

コート D

試合区分： 1 回戦

期 日： 8月7日

クルーチーフ

久保 あしみ

(千葉)

開始時間： 13:30

1st 7PM 17

末廣 龍大

(千葉)

終了時間： 14:34

2nd 7PM 17

桑原 由貴

(千葉)

共栄学園								○		●		館林第一							
東京								73		40		群馬							
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F				
4	*	川名 美羽	24		10	4		4	*	西村 妃奈乃	4		2		2				
5		新井 英恵	5	1	1			5	*	高野 陽葵	16	3	2	3	1				
6	*	吉留 優	8		4		2	6	*	永井 柚羽	0				1				
7	*	白井 鈴乃	13		6	1		7	*	戸部 遥愛	12		6						
8	*	本多 かえで	8		4			8		三田 埜乃	-								
9		長谷川 結	3	1				9	*	金原 悠岬	8	1	2	1	3				
10	*	深谷 柚月	3	1			2	10		鈴木 美結	-								
11		中川 結和	0					11		佐久間 美優	-								
12		西崎 杏	2		1			12		浅井 愛永	-								
13		長島 心咲	0								-								
14		加茂下 杏珠	0								-								
15		大作 羽稀	-								-								
16		小林 杜妃	3		1	1					-								
17		青木 真緒	2		1						-								
18		高橋 海鈴	2		1						-								
コーチ 杉山 卓誠								コーチ 庄田 菜摘											
A・コーチ 横山 浩司								A・コーチ 高野 史											
合計			73	3	29	6	4	合計			40	4	12	4	7				

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

1回戦共栄学園対館林第一。共栄学園はオールコート、館林第一はハーフコートのマンツーマンでスタート。共栄学園はテンポよくボールを回し、連携プレーなどで#4 川名、#6 吉留を中心に得点を重ねる。一方、館林第一は#7 戸部のドライブからのジャンプシュートや#9 金原の3Pシュートで対抗するが共栄学園のリバウンドが強く、少しずつ点差が離れ、1Qは19-7で共栄学園がリード。2Q、館林第一は#5 高野の連続3Pやリバウンドからの速攻が決まり一気に21-17と追い上げる。共栄学園はたまらずタイムアウト。落ち着きを取り戻した共栄学園は#4のジャンプシュート、バスケットカウントが決まる。その後も共栄学園の勢いは止まらず35-19で前半終了。

後半も共栄学園はインサイドで確実に得点を重ねる。館林第一は#5 や#7 がドライブを仕掛けるが、共栄学園の高さの前になかなかシュートを決められない。3Qを54-21で終了。4Q、館林第一#7 のドライブからのジャンプシュートが連続で決まり、流れをつかみかける。しかし共栄学園はリバウンドを確実に取り、#5、#9 の3Pシュートや、#16 小林のバスケットカウントが決まり、落ち着いた試合運びで勝利を手にした。最後まで粘り強く戦った館林第一の健闘も称えたい。

千葉県小中学校体育連盟バスケットボール専門部